

一時預かり事業 を拡充



「少しでも子どもを預けたい」。そんな保護者の声に応え、一時預かり事業の実施施設を拡充します。保育園などに通っていないお子さんを、一時的にお預かりします。必要な時に利用しやすい環境を整え、子育てを応援します。



「認定こども園」 がスタート



幼稚園と保育所の両方の良さをあわせ持つ「認定こども園」が新たに始まります。この施設は、教育と保育を一体的に行うだけでなく、地域の子育て支援の拠点としての役割も担います。保護者の就労状況にかかわらず利用でき、すべての子育て家庭をサポートする、より利用しやすい施設です。



「こども誰でも通園 制度」がスタート



保護者の就労状況を問わず、月10時間まで保育施設を利用できる新制度です。生後6か月から3歳未満のお子さんを対象に、通園の機会を提供します。お子さんの健やかな育ちを促し、子育てに寄り添います。



次世代自動車の 購入費用を補助



町の主要産業である自動車産業を支援し、脱炭素社会の実現を進めるため、電気自動車（EV）などの次世代自動車を購入する町民や事業者の方に費用の一部を補助します。クリーンな未来へ、町全体で走り出しましょう。
※補助額は車種により異なります。詳細はHPをご確認ください。



フリースクール 等への通学支援



児童・生徒の多様な学びの場を保障するため、フリースクール等を利用する家庭への支援を開始します。町の教育支援センターや学校長が出席扱いと認める民間施設等に通う際の交通費や授業料の一部を補助することで、保護者の経済的負担を軽減し、子どもたちの学びの機会を支えます。詳細はHPをご確認ください。



自分の力で未来を切り 拓く！

予測困難な時代を生き抜く力を育むため、町内の中学生を対象とした新事業「苅田町みらい人財育成事業」をスタートします。ワークショップや実体験を通じて学びを深め、アイデアを発表。自ら考え行動する経験を通じて、「地域で活躍できる人財」への成長を支援します。



有害鳥獣対策を 強化



イノシシ等による農作物被害を減らし、住民の安全を守るため、対策を拡充します。捕獲する方への町の補助金を手厚くし、捕獲意欲の向上を図ります。また、侵入防止柵（ワイヤーメッシュ）を購入する際の補助上限額も引き上げ、より効果の高い対策を後押しします。



空き家バンクの 利用を促進



空き家の有効活用と定住促進のため、「空き家バンク」の利用を支援します。バンクを通じて空き家を売却した所有者に奨励金（5万円）を交付。さらに、東京圏から移住し、登録物件を購入・改修する方には工事費等の一部を補助します。
※補助には条件があります。



自治会活動への支援を 拡充

地域のつながりを支える自治会活動を後押しするため、補助制度を拡充します。集会所の維持管理や備品購入への助成に加え、エアコン設置費用の補助を新設。さらに、女性役員の割合が高い自治会への新たな補助も開始し、多様な住民参加と活動の活性化を促進します。



特集

今年度の主な事業

PICK UP 小中学校の体育館に エアコンを設置します



近年の猛暑から子どもたちを守り、学習環境を向上させるため、町内すべての小中学校の体育館に空調設備（エアコン）を設置します。体育館は、授業や部活動だけでなく、災害時には地域の方々が過ごす避難所にもなります。空調設備を整えることで、誰もが年間を通して快適で安全に利用できる施設を目指します。令和8年度は、まず設置に向けた設計を行い、来年度（令和9年度）から利用頻度の高い中学校を優先して工事を開始する計画です。子どもたちの健やかな成長と、町民の皆さんの安心のために、事業を着実に進めてまいります。

PICK UP 向山公園が、もっと楽しく使いやす くなるように整備を進めています



苅田町の多くの方に親しまれている向山公園。この公園を、子どもから大人まで、誰もがこれまで以上に楽しめる魅力的な公園にリニューアルします。今回の再整備では、子どもたちが思いきり体を動かして遊べるように、遊具を全面的に新しくします。また、広々とした芝生広場と花見広場も新たに整備します。ピクニックを楽しんだり、桜を見ながらのんびりと過ごしたり、親子でふれあう時間を心地よく過ごせる空間が生まれます。子育て世代の皆さんが「また行きたい！」と思えるような、笑顔と賑わいにあふれる公園を目指して、令和7年度から整備を進めています。

「与原公園」の計画が スタート

与原地区に、新たに約2ヘクタールの広々とした公園を整備します。今年度は、どのような施設をどのくらいの規模でつくるか、基本的な計画を固めるための設計を行います。地域の皆さんの声を計画に生かすため、ワークショップも開催予定です。



臨空産業公園を 整備

北九州空港の近くに、令和9年8月の北九州空港滑走路3000m延伸に合わせて、「空港の見える公園」として臨空産業公園を整備します。海沿いの心地よい空間は、写真撮影にも最適な場所となる予定です。またイベント開催などを通じて町の知名度を高め、地域全体の活性化につなげていきます。



中央公民館を 大規模改修



昭和54年の開館以来、親しまれてきた中央公民館が、より安全で快適な施設に生まれ変わります。バリアフリー化を進め、大ホールの舞台拡張や座席も一新。誰もが利用しやすく、新たなにぎわいを生み出す地域の拠点として、整備を行ってまいります。

